

京都大学大学院文学研究科学位論文に係る評価基準

平成25年11月21日教授会決定

博士論文の審査にあたっては、以下の基準に基づいて総合的に判断する。

1. 当該分野および関連する分野についての高度で幅広い知識に基づき、明確な問題意識をもって顕著な学術的意義のある研究主題が設定されていること。
2. 適切な研究方法が主体的に選択され、確実に遂行されていること。また、資料や先行研究が適切に取り扱われていること。
3. 明確な結論が論理的に導き出されており、顕著な独創性が認められ、当該研究分野の発展に寄与する学術的価値を有していること。

修士論文の審査にあたっては、以下の基準に基づいて総合的に判断する。

1. 当該分野および関連する分野についての幅広い知識に基づき、明確な問題意識をもって学術的意義のある研究主題が設定されていること。
2. 適切な研究方法が選択され、確実に遂行されていること。また、資料や先行研究が適切に取り扱われていること。
3. 明確な結論が論理的に導き出されており、独創性が認められ、当該研究分野における学術的価値を有していること。